

首里の伝統文化の観光教材としてのデジタル・アーカイブの検討

— デジタル・アーカイブ手法における沖縄の観光素材の教材化 —

Examination of the digital archive as the sightseeing teaching materials of
the traditional culture of Shuri

米須智子^{※1} 岸本春海^{※2} 久世均^{※3}

観光振興を国としての重要な政策の1つに据え、一層の発展を図ろうとする政府の姿勢は、21世紀に入って明確となり、そのための具体的な動きが加速化した。こうしたなか、平成18年に、議員立法により、観光立国推進基本法（平成18年12月20日法律第117号）が、観光基本法（昭和38年6月20日法律第107号）を全面的に改正するかたちで成立した。観光振興には、経済への直接的な波及効果のみならず、様々な役割が期待されている。観光は、その性格上国土政策・地域政策との関わりが深い。それまでの国土政策における開発主義を転換して平成20年に策定された「国土形成計画」においては、観光振興が地域活性化の方策の1つとして、明確に打ち出されている。

ここでは、このような地域の観光文化に関する教育を支援するための観光資料のデジタル・アーカイブにおける観光情報の構造化と教材化について「首里地域」を例にして研究をしたので報告する。

<キーワード>

デジタル・アーカイブ、観光情報、伝統文化、文化遺伝子、観光素材、観光教材

1. はじめに

伝統文化は、歴史のなかで常に同時代性ある文化として現在まで継承されてきた。それはそれぞれの地域の発展と成長とともにその形を創造的に変え、今日に継承されてきている。今回取り上げた首里の地域文化も同様に、沖縄という地域の発展と共に創造的に変化しながら今日に継承されてきた伝統文化である。

従って、この研究は「首里」の歴史的な文化遺産をデジタル・アーカイブしたのではなく、『伝統の先端にいる現在において生活している人が創造している文化』をデジタル・アーカイブしたものであり、地域における地域文化の伝承をみたものである。そしてこのような地域文化こそが、支援されていくべきものではないかと考える。

しかし、地域の伝統文化を伝承するためには、伝統文化は地域や生活と密着した文化であるが故に、単なる資金助成だけでは伝統文化には必ずしも良い効果を生むとは限らない。伝統文化における創造と発展、これがそれぞ

れの地域の個性ある文化の創造であり、地域の創造、活性化の源である。全国のなかでも比較的伝統文化が豊かに継承されている首里地域の地域文化が、それらを同時代性ある活動として活性化していくことで、多様で豊かな社会を創りあげることが期待される。

また、本学がそのような地域社会を形成していく活動に対して、適切な形で協働していけるとすれば、それは非常に大きな意義を持つものである。

また、このことが首里の魅力の再発見と地域資源の発掘を行い、地域として継承していくべき文化や地域資源を地域として再評価するとともに、受け継ぐべき文化や地域資源の発展的継承方法や活用方法を検討し、地域の活性化につなげることができる。

2. 観光文化情報と学習指導要領

歴史・祭り・文化資源等が現在にまで残り、受け継がれているのには理由があり、受け継ぎ、守り育てるために様々な努力（取り組み）

※1 YONESU, Tomoko (那覇市立城西小学校), ※2 KISHIMOTO, Harumi (那覇市立石嶺小学校), ※3 KUZE, Hitoshi (岐阜女子大学)

がなされている。

このように「伝統文化」が地域住民の中で共有できている地域においては、時代が変わり、社会システムが変貌しようとも、今後とも個性ある人づくり、地域づくりが継続できるものであると考えられる。更には、伝統文化を持った人々により地域づくりが行われていくことは、これからの持続可能な社会の形成、豊かな人の感性や作法を生み出すばかりではなく、地域コミュニティの再生・活性化、観光や新産業といった地域振興にも大きく寄与できるものである。

地域の伝統文化による地域づくりを進めるには、まず、地域住民に地域の伝統文化を周知し、共通認識として確立することが必要である。また、住民の行動範囲が拡大し自らが情報収集できる時代にあつて、インターネットなど多様な情報媒体による多種多様な情報が錯綜している中、住民の関心・興味を引き出すような情報発信能力を向上することが重要である。さらに、地域の伝統文化は、幼少の頃から、お年寄りまで多くの世代で共有することが重要であるため、その世代に応じたコンテンツも用意することが望まれる。

また、地域の伝統文化による地域づくりを実践するためには、取り組み主体から情報を発信するだけでなく、今後の展開を検討する上では地域住民の意見や他地域の情報を収集することが不可欠である。

一方、新学習指導要領では、伝統・文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国の国際社会の平和と発展に寄与することのできる児童生徒の育成のために内容の充実を行ったとされている。このようなことから、小学校における伝統・文化の教育が必要であることが明らかである。今回、首里の伝統・文化を教えていく観光教科として、社会科に着目してみた。新学習指導要領小学校社会科の目標では次のようである。

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

今回の学習指導要領で改訂においても、小

学校社会科においては、「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て」と教科目標の中に、これまでの日本を理解していくことが挙げられている。その中で、日本特有の伝統・文化を受け継ぎ新しい文化を築き上げ、より良い社会にしていくことを重視していると考えられる。

3. 観光情報における基本情報

観光情報は地域の財産であり、地域で活動する住民にとっても、過去と未来をつなぐ知の集積として記録され、活用され、発信される価値を持つものである。それらが、地域のコミュニティをより豊かにし、新たに人と人、人と地域をつなぐ触媒として地域に輝きをもたらす。ここでは特に、観光情報を通じて地域の文化遺伝子を再発見するものとして実施した。

地域の文化遺伝子(ミーム(meme))とは、文化を形成する様々な情報であり、人々の間で心から心へと伝達や複製をされる情報の基本単位を表す概念で、動物行動学者、進化生物学者であるリチャード・ドーキンスが、1976年に *The Selfish Gene* (邦題『利己的な遺伝子』) という本の中で作られたものである。

各々の地域では、有史以来、経験し、蓄積してきた多くの歴史的事象が存在する。その中でも、地域の人々により、時には労力を出し、資金を出し、精神を発揮して、これら歴史的な事象を、祭りをはじめ、民俗芸能、遺構、伝承、あるいは町並みなどとして、大切に守り育て、受け継いできているものがある。

このように数ある地域の歴史的な事象の中で、地域の人々によって受け継ぎ、守り育てられてきた「地域固有の精神文化」こそ「文化遺伝子」である。

そこで、様々な地域文化のうち、(主に明治期以前から)長い年月を経て、守り受け継がれてきている「地域固有の精神文化」に着目し、これを「文化遺伝子」と定義した。

ここで、文化遺伝子の観光基本情報を次のように構成する。

(1) 主題となる資料

(例) 主となる文化財の映像の収集(撮影)
資料の構成(例: 獅子舞、踊り方)

(2) 歴史的背景

(例) 主題の歴史的背景について調べ教材

化、(例：首里城，エイサー，伝えられた背景状況，歴史的資料など)

(3) 地域の人々の話

(例) 地域の人々の思い，専門家の研究等の記録 (例：オーラルヒストリー)

(4) 関連資料

(例) 他の関連文化財 (活動)，説明資料など

地域の歴史・祭り・文化資源等が現在にまで残り，受け継がれているのには理由があり，受け継ぎ，守り育てるために様々な努力 (取り組み) がなされている。

このように「文化遺伝子」が地域住民の中で共有できている地域においては，時代が変わり，社会システムが変貌しようとも，今後とも個性ある人づくり，地域づくりが継続できるものであると考えられる。更には，地域の文化遺伝子を持った人々により地域づくりが行われていくことは，これからの持続可能な社会の形成，豊かな人の感性や作法を生み出すばかりではなく，地域コミュニティの再生・活性化，観光や新産業といった地域振興にも大きく寄与できる。

表1 観光基本情報調査票

調査項目	守礼門
位置情報	経度N 26° 13' 5.7" 経度E 127° 43' 0.16"
調査内容 (①②は小学校3・4年生が分かる言葉で表記。③は教師が参考にすることを想定。)	
①歴史	沖縄県那覇市首里にある綾門大道の東側に位置する牌楼型の門 (楼門) である。日本城郭という首里城の大手門あたる。
②特色	種類：
③関連資料 (本や Web, 報告書など。村史Oペー)	

4. 観光情報の発信流通プラットフォーム



図1 首里地域のWebサイト

現在，情報化・国際化の変化により今まで受け継がれてきた伝統・文化が失われつつある。この失われつつある伝統・文化を継承していく必要がある。そのためには，今後の日本を背負っていく子どもたちが伝統・文化を継承し，子どもたちが伝統・文化を創り出していく心を育む教育が必要となる。継承して創造していくためには，表現する力が必要とされる。他地域と伝統・文化についてお互いに地域の伝統・文化を発表し，交流する機会を設けることで，自分たちの地域の伝統・文化について知るだけでなく，他地域の伝統・文化について知ることによって，自分たちの地域の伝統・文化の良さや異文化の違いについて知ることができる。また，伝統・文化について知ることによって，愛着をもつことができ，子どもたちは後世に伝統・文化を継承しようとすると考えた。そのことから，地域の子どもたちに自分の言葉で，他地域の子どもたちに伝統・文化を伝え，また，他地域の子どもから，他地域の伝

統・文化について教えてもらうという，自分たちの伝統・文化について交流し合うことが必要である。

しかし，そのためには，伝えるべき観光情報，すなわち観光教材が必要となる。

インターネットは，一方的に与えられる情報を見る時代から，すべての利用者が情報提供者となる時代，様々な場所にある情報を組み合わせて新たなサービスを形作る時代に変化している。しかし，他のWebサイトから情報を引き出すためには，自身のWebサイトをその形に合わせて構築しなければならない。各サイトでの情報の引き出し方が統一されていないため，多くのWebサイトから情報を引き出そうとすると，それだけ手間がかかるのが現状である。

プラットフォームは「土台」「基盤」という意味で，観光情報プラットフォームは，インターネット上の観光情報を流通させる土台となるシステムである。観光情報発信流通の中心的なシステムとして今回首里地域のWebサイトを構築した。

首里地域のWebサイトでは，先の観光基本情報調査票に従って観光情報を収集する。そして，集めた情報を，プラットフォームを利用するWebサイトにまとめて提供する。それぞれの地域の観光情報の構造化並びに標準化した様式に従ってWebサイトを作ることが重要である。このことにより，これまでインターネットでどこにどのような内容の観光情報があるのかわからなくなることなくなるようになり，地域間での比較も容易になる。自身の情報を公開する場合も，プラットフォームだけに情報を提供できるようにすれば，プラットフォームを利用する様々なWebサイトに情報を発信できる。もちろん，情報発信と情報利用の両方を兼ねるWebサイトを作ることできる。

5. おわりに

観光振興は，まちづくりや地域再生に大きく貢献することが期待され，観光まちづくりという活動や取組みが各地で見られるようになってきている。魅力ある観光地をつくるうえで，その土地の風物が大きな観光価値を有していることを認識し，それを活かすことが重要であり，今後一層街並み等の文化的景観のデジタル・アーカイブに力を注ぐべきである。

【資料】首里の観光基本情報(例)



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	園比屋武御嶽石門
資料名	園比屋武御嶽石門
緯度	26.21822017
経度	127.71670474
方位	北北西



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	歓会門
資料名	歓会門
緯度	26.21804385
経度	127.71720519
方位	北北東



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	広福門
資料名	広福門
緯度	26.21739443
経度	127.7188223
方位	北北東



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	首里森御嶽
資料名	首里森御嶽
緯度	26.21721405
経度	127.71868042
方位	北北東



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	守礼門
資料名	守礼門
緯度	26.21825119
経度	127.71671062
方位	北北東



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	淑順門
資料名	淑順門
緯度	26.21757656
経度	127.71747653
方位	東



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	瑞泉門
資料名	瑞泉門
緯度	26.21803389
経度	127.71740036
方位	東北東



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	日影台
資料名	日影台
緯度	26.21754063
経度	127.71883354
方位	南東



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	正殿
資料名	正殿
緯度	26.21701723
経度	127.71908388
方位	東南東



地域・場所	沖縄県那覇市首里
内容分類	建築物
時代・年	平成
利用分野	教育、観光
表題名称	奉神門
資料名	奉神門
緯度	26.2171636
経度	127.71867436
方位	西北西